

担当する**先生**のための

子供たちの「**見取り**」ガイド

～効果的な自立活動の実施に向けて～

試行版



どのようにしたら、この子は教室でうまく学ぶことができるのだろう。
子供の実態から考えるって・・・
どうすればいいの？

どのようにしたら、この子は教室でうまく学ぶことができるのだろう。
この子に関する資料はあるけど・・・
どう見たらいいの？



先生方が感じている課題は、
子供たちの適切な「見取り」かたを身に付けると
解決に向かうことができます。
これから一緒に学んでいきましょう！

子供の「見取り」って何をすればいいの？



特別支援教室（高等学校では通級による指導）の担当になったのだけれど、指導を始めるにはまず、どうすればいいの？

特別支援教室で自立活動の指導を行う時間は多くないし、原則の指導期間も1年間だし…

子供の「見取り」って何をすればいいの？

特別な教育的支援が必要な子供に対して、**在籍学級と特別支援教室とが常に連携・協力**しながら、指導や支援の充実を図っていくことが重要です。

まずは、**子供のことについて知る**ことから始めましょう。

子供や保護者からの申し出の他、**前籍校や園からの引継ぎ**、**在籍学級担任や教科担任の「少し気になる」という「気付き」**を出発点として、下のような「**学習と行動のチェックリスト**」を活用して**実態・課題把握**を行いましょう。その際、**良さや得意なこと**についても注目しましょう。



<学習と行動のチェックリスト>

様式1-3		記入日		年 月		
学年・生徒名		記入者	在籍学級担任			
学習と行動のチェックリスト（中学生用）						
※評価：できる-A ほぼできる-B あまりできない-C できない-D 未確認-未						
【達成度の目安】 A: 80%以上 B: 80~50% C: 50~30% D: 30%以下						
区分	項目	A	B	C	D	未
1 聞く	① 個別に出された口頭の手紙を読んで行動できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 一声の指示を聞いて行動できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 聞きまちがいがなく、話の内容を覚えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 話す	① 適切な速さで、又としてスムーズに話することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 自分の意思を適切に相手に伝えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 経験したことを順序よく話すことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 読む	① 既習の漢字や英単語を読むことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 学年で使用する教科書の一文を流ちょうに読むことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 別冊や物語文の内容を読み取ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 書く	① 既習の漢字や英単語を書くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 決められた時間内で板書を正確に写すことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 目的や趣意に応じて、一定量の文章を書くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 計算する	① 既習のけたの程度で四則計算ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 既習の手続きを要する問題を解くことができる。（立式が2つ必要など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 定規やグラフの目盛りの読み取りができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 整理	① 学年相応に図形を描くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 目的に沿って行動を計画し、必要に応じて修正することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 授業参加	① 授業中に一定時間姿勢を保つことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 全身を使った運動ができる。（スキップ、ボール運動、縄跳び等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 手本をまねてダンスなどをすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 環境整理	① 配られたプリント等を角を合わせて半分に折ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 授業や筆の筆圧を調節することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 掃除ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 注意	① 身の周りの整理整頓や物の管理ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 人の話に注意を向けて聞くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 最後まで集中してやり遂げることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1 実行	① 服装し、むやみに手足を動かさず、授業を受けることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② そわそわせず落ち着いて行動することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 話の途中に割り込まず、最後まで人の話を聞くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 感情のコントロール	① 予定に変更が生じても鎮静した行動ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 何かに感傷しないで行動することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ ハニックを起こさず感情をコントロールすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 社会性	① きまりを守った行動ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② みんなと一緒に行動（集団行動）がとれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 場所をわきまえた行動がとれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 社会性	① 休み時間など、友達と一緒にトラブルなく過ごすことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 人に対して親しみや思いやりをもった発言や行動をすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 相手に合わせた言葉づかいができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

生徒の得意な点や興味・関心のある事項

詳しくは、下のリンクや二次元コードから「**学習と行動のチェックリスト**」を見てください。
 （高等学校においては「中学生用」を参考にしてください。）

特別支援教室の運営ガイドライン p.97~102 様式1（教育庁都立学校教育部特別支援教育課 令和3年3月）
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/primary_and_junior_high/special_class/files/guideline/05.pdf



チェックリストの作成者は、在籍学級担任の他に、特別支援教育コーディネーターや教科担任、特別支援教室の巡回指導教員等が考えられます。当該の子供に関わる複数の教員から情報を得るようにしましょう。

※本ガイドでは「特別支援学校の自立活動の内容を参考にした特別の指導」を「自立活動」と表記しています。

集めた情報は、どのように整理・分析すればいいの？

このチェックリストをどのように活用すれば、子供の「見取り」につながるのですか？

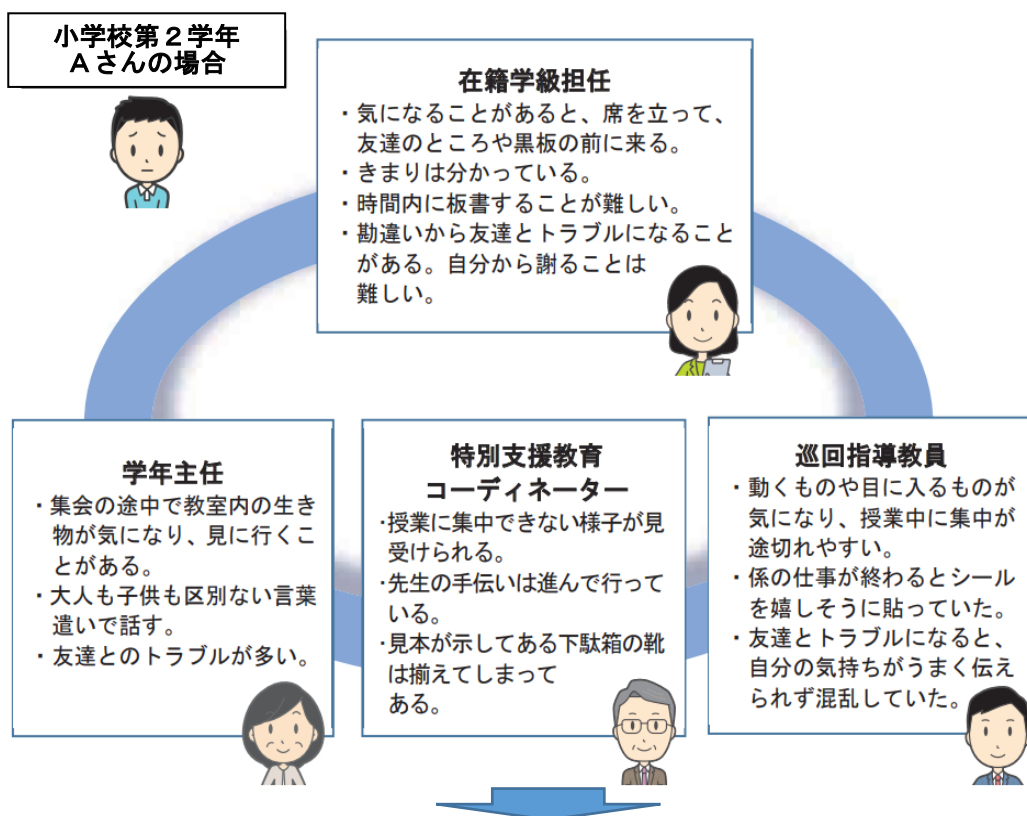
多くの先生方からチェックリストが集まったのだけれど、レーダチャートの見た目もそれぞれ異なるし…



同じ子供についてでも、複数の教員で実態・課題把握を行うと、各結果に相違や偏りが見られることが考えられます。

異なる場面における子供の状態については、下のイメージのように関係する教員間で確認することが重要です。

<複数の教職員の視点で実態・課題を共有する際のイメージ>



校内委員会での情報共有による実態把握

- ・口頭での一斉指示を聞き逃し、全体の活動から遅れてしまうことがある。
- ・全校朝会では、集中できずに列から離れてしまうことがある。
- ・対人関係では、友達との会話の場面でトラブルになることが多い。会話についていけないことや自分の気持ちを言葉でうまく伝えられないことが起因となっている。
- ・聴覚的な情報より、視覚的な情報の方が認識しやすい傾向がある。
- ・写真で示された手本を見て同じ動きをする活動や、係活動後のシール貼りなどは、進んで取り組んでいる。

➡ 複数の視点から子供の情報を共有・交換することで、在籍学級では見られない困難さや、課題を把握することができます。



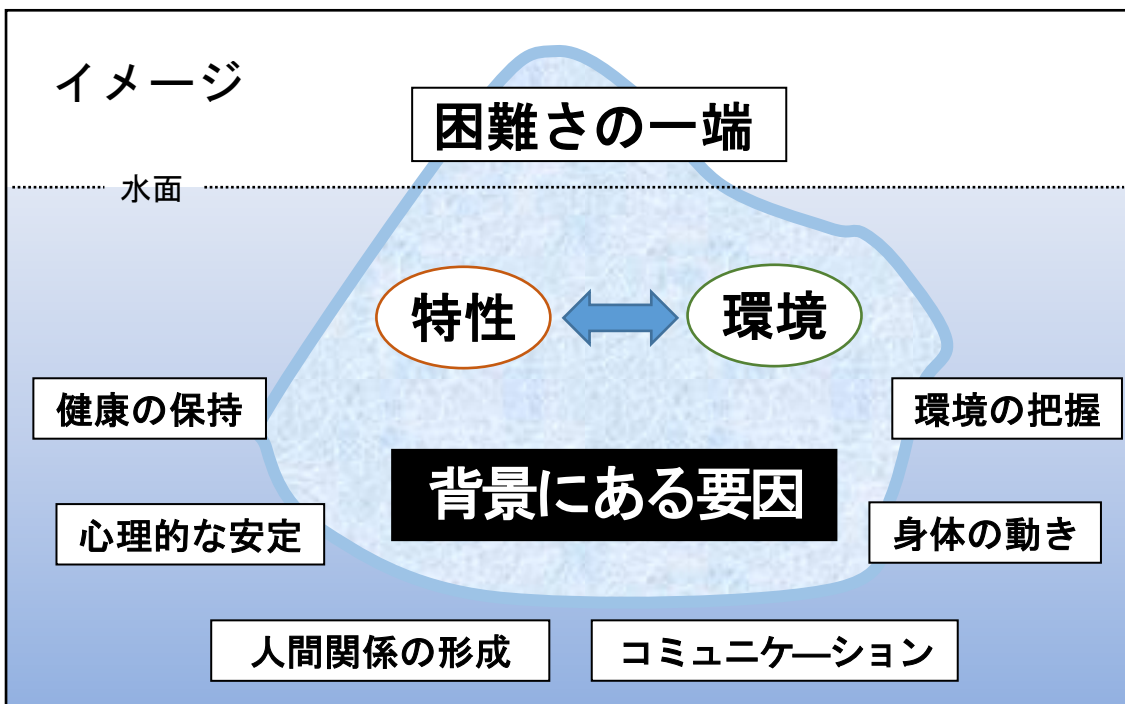
指導目標の設定に関する考え方



子供の全体像について共通理解をすることは分かったけれど、具体的に指導目標を設定するためには、これからどうすればいいの？

把握できた課題はいくつもあって、課題の全てを改善・克服するための指導をするのかなあ。

指導目標の設定のために、明らかになった課題のみに焦点を当てるのではなく、課題の背景となっている要因を検討する必要があります。



困難さは、子供の特性や発達の段階と、環境や状況とが相互に作用することで生じます。

「背景にある要因」を意識し、自立活動の6区分の内容を参考に分析します。

上のイメージ図のように、子供の課題を海面に浮かぶ氷山に例えると、水面より上の部分が見える課題＝障害から生じる困難さの一端です。

表面的に見られる困難さは一部分であり、水面下の部分には様々な要因があることに留意する必要があります。

指導目標の設定に際しては、水面下の「背景にある要因」を意識しつつ、子供の困難さが軽減されるように考えましょう。

このように、困難さの「背景にある要因」の見取りが重要です。

指導目標の設定に当たっては、子供の認知面や行動面に留意しながら、子供の良さや得意なことを活用し、障害から生じる困難さによる「つまずき」の軽減に焦点を当てた目標の設定や、「学習の仕方」を身に付けるための指導目標を設定するなど、優先する指導内容を絞り込んでいく必要があります。

次のページで指導目標の考え方について、解説しましょう。





チェックリスト等では、子供の「困難さ」が把握されるので、
つい、「困難さ」に焦点を当てた指導目標を考えがちです。

しかし、長期的な視点（概ね1年程度）で子供が達成可能な指導目標を設定するとともに、短期的な視点（学期ごと等）で指導目標を段階的に取り上げ、具体的な個別指導計画を作成することが重要です。

実態把握から具体的な指導目標の設定の例

- ① **実態**：漢字や図形の問題が苦手で、落ち着きがない。
↓ ※自立活動の6区分27項目の内容を参考に、要因や背景となる課題を分析
- ② **指導すべき課題の抽出**：注意の集中・持続性、視覚による記憶など
自立活動の区分「4 環境の把握」から
（2）感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
↓
- ③ **指導目標**：視覚から入った情報を思考の中で立体に置き換えていく力を高める。
↓
- ④ **具体的な指導内容**：
例) ホワイトボードに示された立体図を見て、机上の立体ブロックを組み立てる。

参考：特別支援教室の運営
ガイドライン p.76～
(教育庁都立学校教育部特別
支援教育課 令和3年3月)
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/primary_and_junior_high/pecial_class/files/guideline/03.pdf



子供の「見取り」を基にして、困難を改善したり、軽減したりするために必要な指導目標を考えるということが分かりました。

でも、指導すべき課題はどのように抽出するのだろうか…



「指導すべき課題の抽出」⇒中心的な課題

- ・優先順位を考えて課題をリストアップする。
必要性・緊急性・達成の可能性・成果への期待等
- ・つまづきに対する指導のみを考えるのではなく、つまづきの原因を分析する。

原則の指導期間に・・・

「○○ができたら」
「○○が改善されたら」



学習や生活に主体的、意欲的に
取り組みやすくなる。

中心的な課題



対象となる子供の学校生活における課題は様々ですが、実態把握から、自立活動の具体的な指導内容を設定するまでの例が13事例示されています。

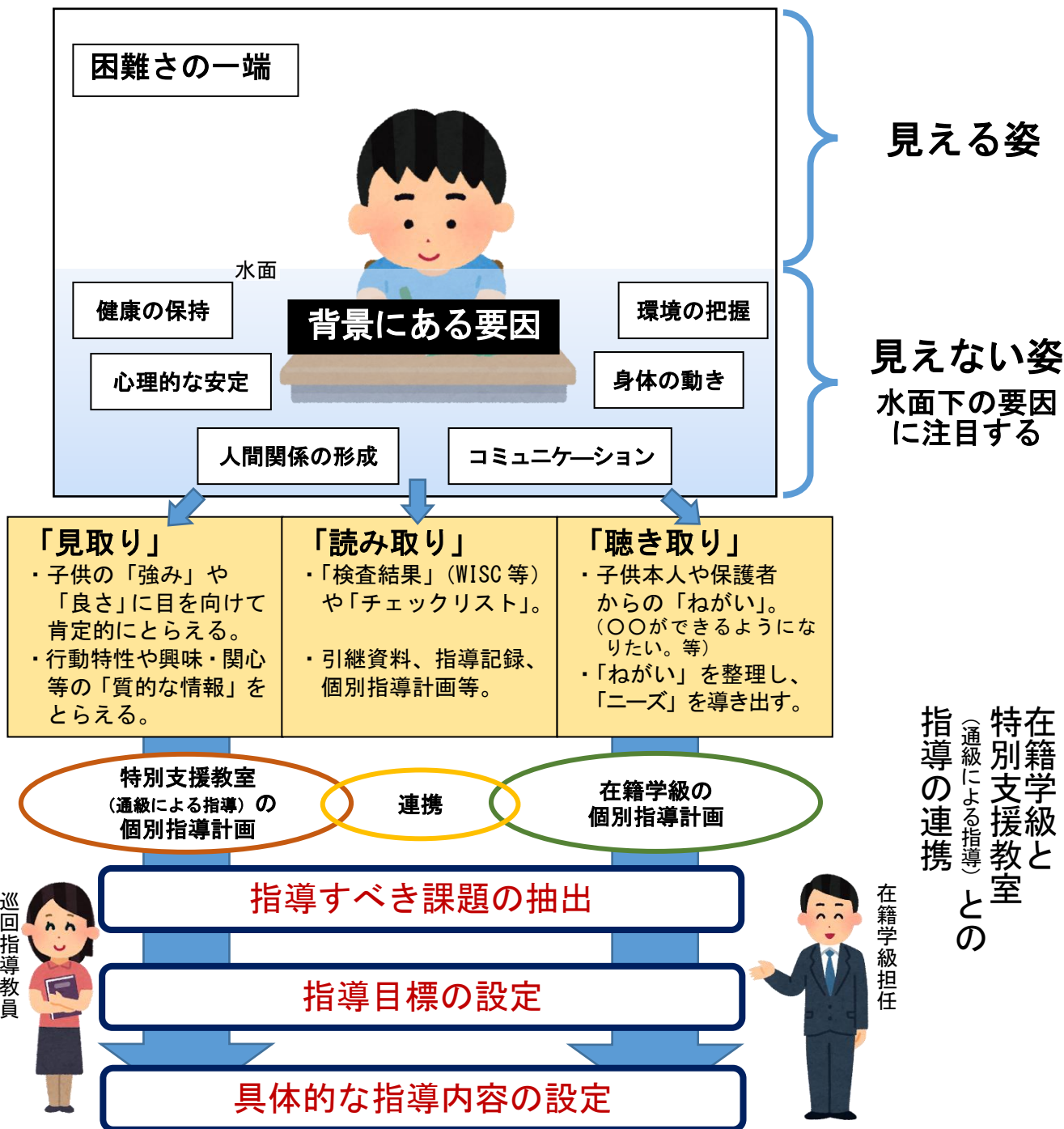
特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編
(幼稚園・小学部・中学部) (平成30年3月) p.32～39. P.128～171
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/02/04/1399950_5.pdf



「見取り」をやってみよう！ ～見取りから指導へ～

「実態把握」

- ・日々の観察や記録とともに、「読み書きチェックリスト」や「社会性・行動のチェックリスト」等を活用する。
(特別支援教室の運営ガイドライン p.103) (特別支援教室の運営ガイドライン p.104)



在籍学級ですでに作成されている「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）」と個別指導計画に基づき、特別支援教室（通級による指導）での個別指導計画（連携型個別指導計画）について共通理解を図って作成します。



障害の状態や生じる困難、良さや得意なことは子供一人一人異なります。そのため、実態把握に基づいて設定する指導目標や具体的な指導内容、指導方法も、必然的に一人一人異なります。

日々の観察や記録とともに、参考のリンク先にある各種チェックリスト等を活用しましょう。

「見取り」を活用した指導をすると…

特別支援教室では…

在籍学級担任等と連携・協力することで、子供の多様な姿を「見取る」ことができました。子供の実態や課題、指導目標について共通理解が図られることが分かりました。

指導すべき中心的な課題も明確になり、指導に自信がもてます。



困りごとについて、自分でもなぜ、困るのか分からなかったけれど、多くの先生が「困りごとの背景」を考えてくれたことで、どうすればいいのか教えてもらえる！

特別支援教室で、自分に合った学び方が分かったから、いつもの教室で使ってみたい！

通級による指導では…

「見取り」を大切にすることで、子供の実態や課題、指導目標について、指導終了時点での「在籍学級における様子」がイメージできました。

指導目標に対する達成状況の評価も明確になります。



通級による指導で身に付ける内容が明確で、自分にとって分かりやすい指導が受けられるので、安心して学習をすることができます。

担任の先生や各教科の先生が自分に合った指導や、支援の方法について共有してくださっているので、在籍学級での授業でも、困難さが減って学びやすくなってきました。

子供の困難さの背景にある要因の「見取り」を行うことから、指導目標の設定が始まることが分かりましたね。

子供が特別支援教室や通級による指導での学びを在籍学級で発揮していくためには、学級担任・教科担任等の深い子供の理解に基づき、一人一人の可能性を認め合うことのできる日常的な学級づくりや指導が極めて重要です。

ユニバーサルデザインの考え方に基づく授業及び行動支援等、子供が必要とする「特別な教育的支援」を学校生活の全ての場面で継続できるよう、日頃から連携・協力していきましょう！

次のページに「見取り」の参考となる資料集がありますので、ぜひ活用して学び続けてください。



「見取り」の参考となる資料集

○特別支援教育・自立活動全般について（国）

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）
文部科学省 平成 30 年 3 月

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/02/04/1399950_5.pdf



初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド
文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 令和 2 年 3 月
<https://www.mext.go.jp/tsukyu-guide/index.html>



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
<https://www.nise.go.jp/nc/>



○自立活動の指導について（東京都）

・特別支援学級・通級による指導 教育課程編成の手引 教育庁指導部特別支援教育指導課 令和 3 年 3 月
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/special_needs_education/teaching_program.html



教育庁指導部特別支援教育指導課が作成した資料

- ・障害のある児童・生徒の学びを支える特別支援教育の充実 令和 3 年 3 月
- ・「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメント 平成 30 年 3 月
- ・ICT機器の活用事例集 平成 29 年 3 月
- ・高等学校における発達障害のある生徒への指導・支援
～学校・学級不適應を予防するための指導・支援のポイント～ 平成 29 年 3 月
- ・通常の学級における個別指導 平成 29 年 3 月
- ・読み書きに障害のある児童・生徒の指導の充実について 平成 27 年 3 月 他
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/special_needs_education/guideline.html



教育庁指導部高等学校教育指導課が作成した資料

- ・令和 4 年度 通級による指導に係る連絡会【動画】 令和 4 年 6 月
- ・マイ・ライフ・デザイン ～自立へのナビゲーション～ 平成 29 年 3 月
- ・ユニバーサルデザインの考え方に基づく授業及び行動支援 事例集 平成 29 年 3 月 他
<https://portal.taims.tocho.local/sites/20210009/SitePages/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0.aspx>

高等学校教育指導課
ポータル掲載資料
(TAIMS 仮想端末のみ
アクセス可)

教育庁都立学校教育部特別支援教育課が作成した資料

- ・特別支援教室の運営ガイドライン 令和 3 年 3 月
- ・小学校特別支援教室 実践事例集 平成 30 年 5 月
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/primary_and_junior_high/special_class/



- ・特別支援教育 指導事例等検索サイト
<https://www.tokushi-case.metro.tokyo.lg.jp/>



教育庁教職員研修センターが作成した資料

- ・特別支援教室と在籍学級とのよりよい連携の構築について 平成 30 年 3 月
https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/09seika/reports/files/bulletin/h29/materials/h29_17_05.pdf



<問合せ先>

東京都教職員研修センター研修部教育開発課

TEL : 03(5802)0319 S0200332@section.metro.tokyo.jp